授業科目名	地球環境共生演習（I）	単位数	2
担当教員名	坪内（つぼうち）　俊憲（としのり）	担当形態	単独
実務内容	主に開発途上国地域において自然保全、野生生物保全管理分野の国際協力プロジェクトに関わる専門家、およびコンサルタント業務に従事してきた現場型教員として、星槎大学大学院においては環境教育特論他、生物多様性と資源利用などの科目を担当。学生を始め広く参加者を募りモンゴル、ボルネオでのスタディーツアーを共生実習として企画・実施している。		

学位授与の方針」との関係

「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という星槎大学の三つの約束のもと、野生動物による農林水産業被害の現状と対策を学び、エゾシカの捕獲現場を体験し、猟友会、農家の方々と対話を通してエゾシカと人が共に生きていくために、どのように考え、行動するか考えを構築する科目である。

A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。

B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。

C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。

D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。

E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。

F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。

授業の到達目標及びテーマ

(1) 農林水産業における野生動物による被害と対策の現状について学ぶ。

(2) 北海道の農林水産業における野生動物による被害と対策の現状について学ぶ。

(3) エゾシカの捕獲に同行し、命を奪う現場を体験する。

(4) 有害鳥獣駆除されるエゾシカと共に生きる社会を創るために必要な考え方を構築する。

実習終了後、エゾシカと人が共生するための考えをまとめ、提出する。

授業の概要

エゾシカ、ヒグマ、イノシシ、アライグマ、トドなどの野生動物による農林水産業被害が拡大している。北海道では、エゾシカによる農業被害が拡大しているため、有害鳥獣駆除されるエゾシカが14万頭になると報告されている。エゾシカ個体数の増加は、エゾオオカミ絶滅が一つの要因として考えられている。捕獲する人と有害鳥獣駆除としてエゾシカが殺される現場にたち、その肉を食べ、農林業を営む人たちとエゾシカによる農林業被害の真の原因は何なのか？どのようにしたら共に生きる社会ができるのか？話し合い、人がエゾシカとともに生きる社会構築に必要な考え方を構築する。

授業計画

第１回：　日本の農林水産業における野生動物による被害の現状を学ぶ。

第２回：　日本の農林水産業における野生動物による被害の対策を学ぶ。

第３回：　有害鳥獣駆除に関わる関係法規制、施行機関、体制について学ぶ。

第４回：　鳥獣被害対策実施隊について学ぶ。

第５回：　捕獲鳥獣の食肉利用に関わる法令、関係機関について学ぶ。

第６回：　捕獲鳥獣の利用方法について学ぶ。

第７回：　北海道における野生動物による農林水産業被害の現状と対策について学ぶ。

第８回：　北海道庁のエゾシカ対策について森林管理局と環境局生物多様性保全課から学ぶ。

第９回：　エゾシカという生物種について学ぶ。

第１０回：エゾシカと人の関係史についてアイヌの人たちと和人の違いから学ぶ。

第１１回：北海道上川郡下川町猟友会会長のエゾシカ猟に同行し、捕獲現場から学ぶ。

第１２回：下川町の農家の作業を手伝い、エゾシカによる被害を農家から聞き取り、学ぶ。

第１３回：捕獲したエゾシカの肉を食し、生き物の命を体感する。

第１４回：ディスカッションを通してエゾシカがなぜ増えたか、なぜ駆除しなくてはないか、駆除は問題解決になるのかを考察する。

第１５回：有害鳥獣駆除される野生動物と人がともに住む社会を構築する方法を考察する。

定期試験

スクーリング（実習）での学修内容

事前学習として野生動物による農林水産業被害の現状と対策を公的機関のホームページから学修する（第１回～第６回）。北海道上川郡下川町におけるエゾシカ捕獲に参加する実習において、農林業被害と対策の現状、エゾシカについて学習をする。

（主に第７回～14回の内容を含む。）

教科書

農林省ホームページ：　http://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/

厚生労働省ホームページ：　https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000032628.html

東京都ホームページ：

http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shokuhin/niku/jibie/guideline.html

北海道庁ホームページ：

http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/hozen/sika/pdf/sika_panfu.pdf

http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/est/index.htm

参考文献

下川町：　http://www.town.shimokawa.hokkaido.jp

梶光一・宮木雅美・宇野裕之編著、エゾシカの保全と管理、北海道大学出版会、

ISBN： 978-4-8329-8171-3

学生に対する評価

スクーリング評価（５０%)、科目修得試験（５０%）を総合して評価する。